

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 緑化推進経費
-------------------	---------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	2	自然環境の保全と回復
主要な施策	4	自然を生かした公園、緑地の整備
事務事業番号	001	事務事業コード 22124001 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	緑化推進経費
------	------	------------	--------

部 名	都市整備部	グループ名	都市計画・公園 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 市民緑化推進事業 ~ 希望する町内会などへ花苗や苗木を提供し、公園などの公共施設の緑化を進める。 沿道美化事業 ~ 道道など主要幹線の植樹樹に沿線住民等による植栽を行う。 新入学児童記念植樹 ~ 学校敷地内へ新入学児童による記念植樹を行う。 試験育苗事業 ~ 希望する町内会などへ育苗のための花の種や諸資材を提供し、育てられた花苗は公共花壇などに植栽する。 みどりの講習会 ~ 緑化推進の啓蒙を図るため、市民を対象にみどりに関する講習会を開催する。 グリーンデータバンク ~ 家庭で育てられなくなった樹木を希望者へ斡旋する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市民参加による各種緑化事業を実施することにより、まちのみどりを増やすとともに、市民のみどりに対する意識を高め、みどり豊かなまちづくりを推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) みどりの基本計画

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標			目標値	95	95	95	95	95
			実績値	53				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	4,232	4,265	4,813	4,413	4,413	13,639
合 計				4,232	4,265	4,813	4,413	4,413	13,639
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	2,833	2,969			
			嘱 託 員	千円	107	117			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		2,940	3,086			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、市民と行政が協働でみどり豊かなまちづくりを推進するため、必要不可欠な事業である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各種緑化事業の実施により、市民のみどりに対する意識が高まってきている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市民がより主体的に各種事業に取り組めるような仕組みを構築することにより、向上させることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最小限の緑化資材等は市が提供し、作業等は市民が行っているなど、各種事業はコストをかけないよう進めているので削減できない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	みどり豊かなまちづくりを市民参加のもと進めていくために、事業を維持する必要がある。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）